

参加費

無料

東日本大震災で甚大な被害を受けた東北地方。発災からこれまでの復旧状況や、これからの復興に必要な支援について、被災地の映像や体験談を交えフォーラムを開催します。また、このフォーラムには県内の子どもたちにも参加いただき、被災地の子どもたちの体験談から、考える学びの機会を提供します。

～2011.3.11 東日本大震災～ 「あの日を忘れない」

●10:00～ 子どもフォーラム

「学ぶことが、命を救う」 ～いつか迎えるその日のために～

被災地の映像を交え、県内と南三陸の子どもたちが東日本大震災について語り合う。共に学び・共に考えるフォーラム。

※一般の方も、ご来場可能です。

●13:00～ アトラクション



徳島市阿波踊り振興協会
【天水連】

【阿波酔連】

キレのあるうちわ! 豪快なちょうちん!



●14:00～ 一般フォーラム

「被災地を思い、被災地に学ぶフォーラム」

(津波防災・減災リレーセミナー in 鳴門市)

南三陸町の方の基調講演。被災地の方のメッセージを交え、地域防災の担い手の育成や行政・学校・家庭・地域が一体となり取り組む災害に負けないコミュニティづくりについて学ぶフォーラムです。

基調講演 講師／山内 正文 (やまうち まさふみ)

【プロフィール】

東日本大震災による津波で甚大な被害を受けた宮城県南三陸町で鮮魚店を営む。地震発生直後、家族や店の従業員たちと志津川中学校へ避難。押し寄せる大津波が店舗や加工場、そして街を飲み込み、海の底へ沈む様子を目の当たりにした。非常時の避難所運営からこれまで、混乱の中にあっても常に希望を持って行動するその姿や言葉に周囲は魅かれ、巻き込まれ、そして前を向いた。「俺はこの町が好きなのっしょあ。だから、必ず元に戻す。津波には負けねえど!」会社を運営する傍ら、商工会副会長、福興市実行委員長、一般社団法人南三陸復興まちづくり機構の理事長を務め、復興へ向け今もなお先導する日々が続いている。



●15:00～ パネルディスカッション

コーディネーター／阪根 健二 (鳴門教育大学教授)

パネリスト／山内 正文 ((株)ヤマウチ 代表取締役社長) 小西 正志 (徳島中学校教諭) 日開野 博 (四国大学教授) 他、鳴門市より1名

写真展

展示・会議室

●9:30～17:00

宮城をはじめ、東日本大震災の被災地の様子を撮影した写真をパネル展示します。東日本大震災のすさまじさを写真を通じて多くの方に理解していただきます。



「復興への道のり」

佐藤 信一 (さとう しんいち)

1966年、宮城県本吉郡南三陸町生まれ。親子二代、南三陸町で写真館「佐良スタジオ」を営んでいたが、2011年3月11日、東日本大震災の津波により自宅及び写真館を失う。「一番苦しいときの写真を残す。この先、何が起きても、みんなが乗り越えられるように」と、唯一持って逃げたカメラで地震直後から失われた街が元通りになるまでの道のりを今も撮り続けている。



「東北の今と絆、そこに咲いた笑顔をお届け」

川谷 清一 (かわたに きよかず)

一撮入魂・年中夢中を身上とする大阪市出身の写真家。震災後、幾度となく東北入りし、南三陸・石巻を中心に被災地の状況を記録。昨年、大阪府の職員を退職し、宮城県登米市に移住。石巻市内の中学校に勤務する傍ら、被災地の現実と暮らす人たちの笑顔を取り続けている。



ホワイエ・バルコニー ●9:30～17:00

遠くにいてもできる支援として、被災地及び徳島県内の特産物を持ち寄り、福興市(物産展)を開催。売り上げの一部は宮城県内の復興支援金として有効に活用させていただきます。



●キッズコーナー ●地震体験(11:00～14:00)

※企画内容については、変更になる場合があります。